

日本助産評価機構 助産学共用試験要項



2026 年度版 VER. 3

目 次

1. 助産学共用試験実施の概要.....	2
(1) 助産学共用試験について.....	2
(2) 知識および問題解決能力の評価方法（CBT）.....	2
2. 試験実施の時期	3
3. 対象学生	3
4. 追・再試験	3
5. 受験スケジュール.....	3
6. 受験料および納付方法.....	4
7. 助産学共用試験受験票の交付.....	4
8. 助産学共用試験 CBT の実施方法について.....	4
9. 出題形式と出題問題.....	5
10. 基準点	5
11. 助産学 CBT 成績の通知および開示.....	5
12. 合否判定	6
13. 有効期限	6
14. 注意事項	6
(1) 遵守事項	6
(2) 不正行為について.....	7
15. 試験結果に関する異議申し立てについて.....	7
【別添1】助産学 CBT 合格証様式	9
助産学共用試験の守秘等に関する誓約書.....	10
助産学共用試験の守秘等に関する誓約書.....	11

1. 助産学共用試験実施の概要

(1) 助産学共用試験について

- 1) 助産学共用試験は、一般財団法人日本助産評価機構にて運営されます。日本助産評価機構は、学校教育法第 110 条に規定される専門職大学院の認証評価機関として認証されており、助産専門職大学院認証評価のほか、大学院、大学、専修学校・専門学校等の第三者評価、助産所の第三者評価を行っています。2015 年からは助産実践能力習熟段階クリニカルラダーレベルⅢ認証制度の運営を開始しており、本制度で認証された助産師は「アドバンス助産師」と呼ばれます。

構成団体は、(公社) 日本助産師会、(公社) 日本看護協会、(公社) 全国助産師教育協議会、(一社) 日本助産学会の 4 団体となっております。

- 2) 助産学共用試験は、「知識および問題解決能力を評価する客観試験」(Computer-Based Testing for Pre Midwife: CBT-Pre Midwife/以下、「助産学 CBT」という) と「技能・態度を評価する客観的臨床能力試験」(Objective Structured Clinical Examination for Pre Midwife: OSCE-Pre Midwife/以下、「助産学 OSCE」という) に分けられます。

2026 年度からは上記のうち、助産学 CBT を先行して運営を開始し、助産学 OSCE については引き続き、全国助産師教育協議会と協働の上、課題の精練、評価員の育成を行って事業化を目指します。

なお、本共用試験は実習前の実施を基本として想定されていますが、学修評価の一環として実習後にも活用していただくことができます。

- 3) 助産学共用試験の主な目的は、助産学生が臨地実習に赴く前に本共用試験を受験し、一定の基準を上回る成績を修めることをもって、基礎知識や技能・態度が助産師としての資格を有しない実習生にふさわしい基準に到達していることを保証することにあります。

これまで各教育機関がそれぞれ独自に行ってきた助産学生の質保証および評価の取組に加えて、全国で統一された基準に基づく共用の試験を活用することにより、助産学生の質を標準的に評価し、助産師学生の実習にご協力いただく妊産婦や新生児およびその家族へのケアの質を担保することができると考えております。このことは、ひいてはわが国の助産師教育の発展にも寄与すると考えています。

(2) 知識および問題解決能力の評価方法 (CBT)

- 1) 知識の評価は、多肢選択形式 (Multiple Choice Question : MCQ) の客観試験で実施します。
- 2) 出題範囲は、(公社) 全国助産師教育協議会が策定している「望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラム」(2020 年度版) に準拠します。
- 3) 各学生には共通の問題を出題するのではなく、個々に異なった問題をランダムに出題しますが、受験学生ごとの難易度は同じになるよう配慮されます。
- 4) 試験問題の配信、成績の集計等は、当機構が用意するオンライン試験システムを利用します。

2. 試験実施の時期

助産学共用試験（助産学 CBT）は、さまざまな助産師教育課程・修業年限に対応するため、年間を複数の期に分けて、各期において各教育機関の試験実施の希望日程を確認し、運営されます。

試験実施の希望日程については、試験開催の前年度の 12 月～1 月に各教育施設からの希望を受け付けます。

3. 対象学生

対象学生は、試験実施年度に臨地実習を履修する予定の学生、もしくは臨地実習を終えている学生とします。

4. 追・再試験

CBT 試験における追・再試験については以下の通りです。

追試験：助産学 CBT において、病気等のやむを得ない事由により受験できなかった場合、追試験を実施します。追試験の日程は、原則、予め試験実施希望日程提出時に追試のための予備日程（本試験後 2 週間以内を目途）を設定しておき、その日程に合わせて行われることになります。

再試験：CBT 試験において、成績が基準点に達していない場合、再試験を行います。再試験日程については、各教育機関からの再試受験申請を受けて調整となります。
なお、再試験は各受験者 1 回までとなります。

5. 受験スケジュール

受験申込は学生個人からではなく、それぞれの教育機関から一括して受け付けることとなります。

下記に教育機関からの受験申込と当機構の試験運営までの流れをお示しします。

（受験申請以降の当機構と受験校との間の書類のやり取りは、原則、当機構が用意する受験校専用のクラウドサーバにて送受信を行う予定です）

試験前年	各教育機関から受験申請を受け付ける。この際に、受験予定人数（この段階では見込みの人数で結構です）と試験実施希望日、教育機関側運営担当者等を提出いただく。	
	12 月～1 月	
	3 月	当機構から受験校へ試験実施日程の通知／受験者名簿・受験者の誓約書の提出依頼を行う
	4 月上旬～中旬	受験校より受験者名簿等の提出
		受験校には、この時点で利用辞退がある場合はお申し出いただきます
		※提出の目安 6 月以降の受験の場合は、試験期日の 1 カ月前までに提出

- 当機構より順次、受験票と受験料の請求書を発行／受験校には受験料の納付を行っていただく
- ※発行の目安
6月以降の受験の場合は、試験期日の2週間前までに発行
- 5月以降 受験校の試験日程に従って、試験実施

6. 受験料および納付方法

- 1) 助産学 CBT の受験料（学生 1 名あたり）は、下記の通りとします（含消費税）。
 全国助産師教育協議会会員校 4,000 円
 一般の助産師養成校 5,000 円
 ※ 追試験については、上記の費用に含みます。
- 2) CBT 再試験の受験料は、上記金額と同額とします。
- 3) 受験校には学生の受験料を一括して、当機構の指定する口座に振り込んでいただきます（請求書・領収書は当機構より発行いたします）。
- 4) 試験期日の 3 週間前までに受験を行わない旨の申し出があった学生については、受験料を免除（納付済みの場合は返金）とします。ただし、再試験の受験料には適用されません。
- 5) 4) の場合を除き、利用料および受験料は返還いたしません。

7. 助産学共用試験受験票の交付

CBT の助産学共用試験受験票は、試験期日の 2 週間前までに受験校に送付されます。

なお、受験票を含め、受験申込後の当機構と受験校との各種書類の送付・提出については、受験校ごとに当機構が用意したクラウドサーバを介して行います。

8. 助産学共用試験 CBT の実施方法について

助産学 CBT 実施の詳細については、受験申込後に当機構より受験校の手引きをご提供いたします。

実施方法の概要については、下記に示します。

試験会場	助産学 CBT については、受験校の教室にて集合型にて行われます
受験用機器 インターネット環境	助産学 CBT に必要な PC およびインターネット環境については、受験校にて確保をしていただきます
CBT 試験システム	助産学 CBT システムは当機構にてご用意いたします。受験者のシステムへの認証情報は、受験票に記載をいたします
試験会場の運営 監督	助産学 CBT の試験会場の運営および試験監督については、受験校にて行われます。試験が完了したら、ご担当者より所定書式による実施報告をいただきます（受験校にて実施管理者 1 名をご指定いただきます）

試験当日の システムサポート	助産学CBT当日のシステムトラブルや操作方法等については、 電話・メール等にて当機構担当者が対応いたします
-------------------	--

9. 出題形式と出題問題

- 1) 問題は5肢択一、5肢択二、4肢択一の形式で出題します。
- 2) 試験科目および問題数は第1科目（「マタニティケア」分野から出題）100問と第2科目（「マタニティケア能力」以外の6分野から出題）50問が出題されますが、「基準点」に記載の通り、合否は第1科目のみで判定されます。
第2科目は実習前段階では学修が進んでいない教育機関もあることを考慮し、合否には関係なく、全般的な知識の状態を測る意味で出題をいたします。
試験時間は全体で150分となっています
- 3) 各科目の出題内容は、「望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラム」（2020年度版）に準拠したカテゴリの問題が用意されており、その内容は以下に示す通りです。

区分	科目名	出題分野	出題数	試験時間
基準科目	第1科目	C. マタニティケア	100問	100分

追加科目	第2科目	A. 助産師として求められる基本的な資質・能力（プロフェSSIONナリズム）	50問	50分
		B. 社会・環境と助産学		
		D. プレコンセプションケア		
		E. ウィメンズヘルスケア		
		F. マネジメント・助産政策		
		G. 助産学研究		

10. 基準点

助産学CBTでは第1科目（「マタニティケア」分野）において正答率60%を基準点とします。試験において、この基準に達しない者は再試験を申し込むことができます（各人1回まで）。

11. 助産学CBT成績の通知および開示

各人に個人成績表を発行いたします。この際、成績表には第1科目における基準点到達もしくは未到達の旨および各科目の正答率を示します。

合否・成績通知事務に関する標準処理期間は、受験校からの実施報告提出から1週間以内となっております。

1 2. 合否判定

当機構は受験者の試験結果に基づき、基準点に照らした合否判定を行います。この際、合格者には合格証を交付します。

基準点に満たなかった受験者は、再試験を申し込むことができます（各人1回まで）。

なお、合否判定通知後の臨地実習実施に関する学生への対応については、受験校のご判断によりご対応ください。（本試験の不合格が学生への臨地実習実施を制限するものではありません）

1 3. 有効期限

助産学共用試験の合格資格は、受験校において受験年度のカリキュラムに位置付けられている臨地実習期間（※）においてのみ有効とします。実習前 CBT の受験に際しては、試験の合格証を発行し、有効期限等を明示いたします。

ただし、特別な事由により、上記の臨地実習期間に実習が終了できなかった場合は、所定の手続きを行うことにより、当該学生に対して原則として1回に限り、有効期限を次年度の臨地実習まで延長できます。

この際の特別の事由としては、事故や病気、経済的理由による一時的な勉学の中断、自然災害等により実習が行えなくなった場合などが挙げられます。留年や海外留学は特別な事由としては認められませんので留意してください。

※ 教育機関の通常のカリキュラム設定により、臨地実習が受験年度を越えて実施される場合は、当該臨地実習期間全体を「受験年度のカリキュラムに位置付けられている臨地実習期間」とすることができます。

1 4. 注意事項

(1) 遵守事項

1) 受験学生

助産学共用試験は受験校によって試験実施日が異なります。したがって、受験学生の公平性を担保するためには、受験学生が助産学共用試験の問題や課題など、試験を受験して知り得た「非公開とされている情報」を他者へ伝えず、秘密を保持することが不可欠です。

また、上記の情報等を収集したり、他者が収集したものを閲覧したりすることは不正行為となります。

助産学共用試験にかかわることは、SNS 等にも一切投稿することを禁じます。

受験を行う際には、助産学共用試験の実施目的と上記の遵守事項に関して、十分に理解し納得した上で、守秘に係る誓約書記載内容への同意をお願いいたします。

2) 受験校の教職員および関係者

助産学共用試験は、当機構と受験校で共同して自主的に運営・実施する試験であり、わが国の助産師教育の充実・発展に資する目的で実施されます。

したがって、以下の3項目の事項を遵守していただくよう、お願いいたします。

（一）試験問題の内容を他に漏洩・公開しないこと。助産学共用試験にかかわること

は SNS 等にも一切投稿しないこと

(二) 試験問題に関するメモやコピーなどはとらないこと。また、学生から助産学 CBT 問題の内容を収集しないこと

(三) 学生の成績データは厳格に管理し、漏洩・公開しないこと

受験校におかれましては、当該年度の助産学共用試験に携わるすべての教職員および関係者に、助産学共用試験の実施目的と上記の遵守事項を十分に理解させたうえで、試験管理者名にて、守秘に係る誓約書をご提出ください。

遵守事項に反した行為を行った受験校、あるいは以下の項目のいずれかに該当すると当機構が認めた教育機関については、助産学共用試験の参加の適否に関して慎重な検討を行うことといたします。

(ア) 助産学共用試験の信用を低下させるおそれのある教育機関

(イ) 助産学共用試験の適正な運営を妨げるおそれのある教育機関

(ウ) その他、当機構が不適当であると認めた教育機関

(2) 不正行為について

助産学 CBT の試験会場では、監督者の指示に従い、試験会場の秩序を乱すような行為は不正行為とみなされます。また、試験中に使用、着用、閲覧等が禁止されているものは全て、かばんの中にしまい、取り出すことのないようにしてください。

(試験中、使用、着用、閲覧等が禁止される物品)

- 1) 通信機能や録音・録画等が可能な一切の電子機器（腕時計、携帯電話、スマートフォン、カメラ等）
- 2) 教科書、参考書、事前に用意したノート等
- 3) 筆記用具

前述の通り、守秘義務の順守をお願いします。受験した問題など、試験を受験して知り得た「非公開とされている情報」を他者に伝えたり、メモに残したりすること、また、当該情報を収集したり、他者が収集したものを閲覧したりすることは、試験の公平性を損なうため、不正行為となります。

不正行為が発見された場合は、直ちに当該不正行為者の試験は終了となり、採点をしない措置をとることとなります（事後的に判明した場合は、当該試験結果は無効となります）。

15. 試験結果に関する異議申し立てについて

受験者は、共用試験の結果に対して、試験の透明性及び公平性の向上を図る観点から所定の手続きに則り、異議申し立てをすることができます。

受験者は、試験結果に対して異議がある場合は、試験結果を受け取った後、2 週間以内に大学を通して当機構へ異議申し立ての申請を行ってください。

機構は、異議申し立てに基づき、異議審査委員会で審議を行い、受領後 2 週間以内を目途に判定結果を当該大学を通して通知いたします。

以上

【別添1】助産学 CBT 合格証様式



助産学共用試験 CBT 合格証

教育機関名・学科名

受験者氏名

認定番号

上記の学生は、●年度実施の助産学共用試験 CBT の基準点を満たしたことを証します。

本共用試験は、助産学生が臨地実習を開始する前に習得すべき知識を具有しているかどうかを評価するために教育機関が共用する試験として一般財団法人日本助産評価機構が実施したものです。

本助産学 CBT 合格資格の有効期限は、学生が教育機関に在学する期間の臨地実習終了までとします。

年 月 日

一般財団法人日本助産評価機構

【別添2】

(受験生用)



助産学共用試験の守秘等に関する誓約書

助産学共用試験（CBT、OSCE）の問題、課題、それらの内容、助産学共用試験を受験して知り得た「非公開とされている情報」は、他者に伝えず厳重に秘密を保持します。また、上記情報等についての収集、および他者が収集した上記情報等の閲覧もいたしません。

私は助産学共用試験の公正な実施と運用のために、上記の事項を遵守いたします。

一般財団法人日本助産評価機構 御中

年 月 日

学校名

学籍番号

氏 名

【別添3】

(試験管理者用)



助産学共用試験の守秘等に関する誓約書

助産学共用試験（CBT、OSCE）の問題、課題、それらの内容、助産学共用試験に参加して知り得た「非公開とされている情報」は、他者に伝えず厳重に秘密を保持します。また、上記情報等についての収集、および他者が収集した上記情報等の閲覧もいたしません。

私は助産学共用試験の公正な実施と運用のために、上記の事項を遵守するとともに、受験生、教職員、関係者に上記事項を通知し、遵守されるよう努めます。

一般財団法人日本助産評価機構 御中

年 月 日

学校名

職 名

氏 名

改訂履歴

2025. 12. 11	文言の微調整（内容の変更なし）
2026. 6. 23	再試験受験は1回までであることを明記（3 頁、5 頁） 成績の通知について、得点を合格者も含め一律開示に改め、合否通知までの標準処理期間を1週間以内と明記 合格資格について、臨地実習が通常のカリキュラムとして複数年度にわたって行われる場合の合格資格延長についての注記を追加